

「見極めるのは自分自身」

同和問題の教育・啓発研修などで、「差別をなくしていくために自分にできることは何か」といった問いかけをすると、「正しい知識を身につける」、「正しく理解することが大事」などといった答えが返ってきます。とても大事なことです。どうしたら正しく知ること、理解することが出来るのでしょうか。同和問題を正しく知る機会には、残念なことにとっても少ないのが現状です。関心を持っていても、どうやって知っていいのかわからない人も多いと思います。そうした中で、インターネットを使って調べるといふ人もいます。正しい情報は、国や

tomon i kiru

市町のホームページを見ればよいですが、検索すると他にも多くのページがヒットしてきます。その中には、同和問題を理解していると思っても、騙されてしまうような巧妙なフェイクだったり、差別意識をあおるようなページもあります。また、インターネット以外でも、多くの情報が飛び交っている社会の中で、同和問題を誰からともなく知らされることもあります。私たちは、その真偽を見極めなければなりません。人は、正しい知識を持たないと、疑うことなく誤った情報を信じる傾向にあります。同和問題との負の出会いをする前に、予断や偏見に取り込まれない人権感覚を養うこと、差別がどこに隠されているのかを見極める力を身につけることが大切なのです。

社会教育指導員 野中久美子

市交際費の支出状況

令和2年1月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	2	15,000
	累計	43	148,500
見舞い	今月分	0	0
	累計	5	58,067
御祝	今月分	1	4,400
	累計	34	184,150
賛助	今月分	0	0
	累計	2	9,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	3	3,920
	累計	27	158,427
会費	今月分	15	34,000
	累計	33	118,000
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合計	今月分	21	57,320
	累計	146	683,344

※くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

市長コラム

Message for citizen



市長コラム



新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。昨年中国湖北省武漢市での前例なき肺炎ウイルス感染発生から始まった。病状を調べ「SARSに似た新型」とSNS発信した医師は当局にデマ拡散と咎められ、その後、自身も感染し、他界した。武漢市で急速に感染拡大し、春節で人々の全国や世界への移動で拡散。2月19日現在で中国国内の感染者7万4千人、死者2千4人。世界へ広がっている。中国政府が厳戒体制や武漢封鎖に踏み込んだのは1月23日だが、数百万人の移動が自覚症状なく拡散を加速させた。12月末に中国では気づいていないとの報道や、1月初旬に有効策を打てたはずの見方も多く、中国政府はかつてない危機に直面しているとの分析もある。日本でも感染が拡大中だ。雨の日に東京湾の屋形船で催された新年会出席者から広がり、そ

新型コロナウイルスの猛威

市長 横尾俊彦 2月20日記

の高齢家族一人は国内最初のウイルス感染死者となった。そのことを受け、多久市では翌日に対策検討会議を行った。都内で「田舎の母から心配の電話がきた」と聞いた。ミクロン単位ウイルスだけに心配は尽きない。ルート特定できない感染も現れ始めた。2月20日福岡市に感染者が発生。同日はクルーズ船でも感染者が2人。昼前に多久市は情報連絡室設置。需要急増で店頭のマスクや消毒剤が消えた。友好都市曲阜市に備蓄マスク二千枚を支援した。雪中送炭の故事に習って。危機には最悪を想定して万策を打つのが常道だ。制度なくとも対策は必要。後日そこまですなくても笑われるのは幸いだ。あの手この手も打たず犠牲が出たでは泣くに泣けない。気が抜けない。政府も自治体も企業団体も国民も一体となり、危機を乗り越えねばならない。